

会員の皆様へ

寒河江市農業委員会の

活動を紹介します！



なめこ工場の見学

女性農業者の交流と意識向上を目的とした

「女性農業者のつどい」を開催しました！

山形県農業委員会女性の会では、女性委員の活動等を紹介するお知らせを発行しています。
今回は、寒河江市農業委員会の取り組みをご紹介します。

山形県農業委員会

女性の会

からの

お知らせ

No.23

明日の活力になるような会を目指して！

発行：山形県農業委員会女性の会事務局
<(一社)山形県農業会議>
令和6年11月27日発行

くまちゃんなめこ 取締役 熊谷由美子さんより、
施設や設立経緯、収穫体験の説明



令和6年11月5日(火)「女性農業者のつどい」が開催され、女性農業者10名・女性農業委員4名等が参加しました。女性農業者の交流と意識向上を目的として毎年開催しており、今年度は、山形県農業委員会女性の会の研修会で寒河江の女性委員と一緒に事例発表を行った、鮭川村の「くまちゃんなめこ」の視察や、道の駅の視察など「最上地方のきのこ産業」をテーマとして行われました。

くまちゃんなめこの視察では、取締役の熊谷由美子さんより、最初に施設や設立経緯等についてお話があり、その後、実際に工場の見学を行いました。熊谷さんからは「ナメコ栽培は部屋ごとに気候を設定して成長を促進しているため、徹底した温度管理が必要。鮭川村きのこブランド力向上を目指し、出荷規格やパッケージ統一化をJAを中心に行っている。」などの説明がありました。

収穫体験では、実際になめこを一本一本切り取り、パック詰め・シール貼りを行いました。直売会や質疑応答・情報交換もあり、充実した視察研修となりました。

参加者からは、「事業を継続していくことの大変さを感じました。なめこの価格が上がらない中で経費の値上がり施設の老朽化など、どの作物にも共通の課題があることを感じ、地域の農業を続けていくためには何をしなければならぬのか、一人の農家として考えつづけ実践に結びつけていく必要があると改めて思いました。」などの感想が寄せられました。

「はい、なめこ！」
なめこのポーズで集合写真★



収穫体験



山形県では全ての農業委員会で女性委員が登用されています！

山形県の女性委員(農業委員・推進委員)は、令和6年5月現在、78名です。

山形県農業委員会女性の会は
次のステージへ！

令和2年12月25日に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」では、成果目標として、
「農業委員会に占める女性農業委員の割合を早期20%、2025年までに30%を目指す」としています。

山形県の女性農業委員の割合は、現在14.1%です。

女性委員の仲間を増やし山形県の女性委員の輪を一緒につくっていきましょう！

県内農業委員会の皆様へ向けて、情報発信したい女性委員や委員会の取り組み等がございましたら、ぜひ、女性の会事務局へご連絡ください。